BOSE WORK MANAGEMENT

ユーザー ガイド



はじめに4
互換性およびダウンロード4
商標およびライセンス情報4
利用規約とプライバシーポリシーについて4
デバイスリストとメニューバー5
VB1デバイスを追加、検出、およびモニタリングする6
デバイスリストアイコン/ シンボル6
列(Column)を追加/削除する7
デバイスリストを並べ替え(ソート)する7
デバイスリストを再検索(リフレッシュ)する7
マニュアル操作でデバイスリストへ加える8
デバイスリストのエクスポート9
情報検索(Search/サーチ)9
VB1 デバイスの識別9
ネットワークを選択する10
VB1デバイスを削除する10
Global Password (グローバルパスワード)の指定11
Profiles(プロファイル)を管理する11
Download Profile(プロファイルをダウンロード(保存)する)11
Upload Profile(プロファイルをアップロード(コピー)する)12
Restore Profile(プロファイルを復元)12
VB1デバイスを再起動(リブート)する13
デフォルトセッティング(工場出荷時設定)に復元する

	ファームウエアをアップデートする	14
	即時にアップデートする	14
	スケジュールされたファームウエアアップデート	15
	ファームウェアのアップデートをスケジューリングする	15
	スケジュールされたアップデートを変更する	15
	スケジュールされたアップデートをキャンセルする	16
	以前のファームウエアをインストールする	16
	Downloading Logs(システムログをダウンロードする)	16
_		
Co	ontrol Panel(コントロールパネル)	17
Со	ntrol Panel(コントロールパネル) パラメータのコンフィグレーション(構成)	
Co		17
Co	パラメータのコンフィグレーション(構成)	17
Co	パラメータのコンフィグレーション(構成) Configuration(コンフィグレーション)セクション	17 19 21
Co	パラメータのコンフィグレーション (構成) Configuration (コンフィグレーション) セクション Video (ビデオ映像) セクション	17 19 21
Co	パラメータのコンフィグレーション (構成)	172123
Co	パラメータのコンフィグレーション (構成)	17 21 23 25
Co	パラメータのコンフィグレーション (構成)	1721232525

はじめに

リモート管理機能を備えたBose Work Managementソフトウェアを使用すると、会議室の1台のデバイスから、企業の各拠点やキャンパス全体に設置された数百台のデバイスまで、Bose Videobar VB1をどこにでも簡単に展開および管理でき、重要な機能を一拠点から制御できます。全デバイスを一括、もしくは選択したデバイス毎にアップデートを行う、あるいはネットワーク上で全デバイスを検出して、それぞれを個別またはグループ構成したプロファイルを作成・展開するなど、コンフィグレーション コマンドを直接送信できます。

Features (機能)

すべてのBose Videobar VB1デバイスのリアルタイムのデバイス ステータス確認と機能制御を一拠点で実行

すべて、または選択したデバイスのみにソフトウェア更新(ファームウェア アップデート)

デバイスまたはデバイスのグループごとにパラメータを表示、編集、保存

ネットワーク上のすべてのデバイス検出と、プロファイルの作成、保存、および適用

互換性およびダウンロード

Bose Work Management アプリケーションは、Windowsと互換性があり、 PRO.BOSE.COM よりダウンロードできます。

商標およびライセンス情報

Bose, Bose Work, および Videobar は Bose Corporation の商標です。

Bluetooth® は Bluetooth SIG. Inc. の登録商標です。

Microsoft および Windows は、MicrosoftCorporation の登録商標または商標です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

利用規約とプライバシーポリシーについて

Bose Work Management アプリケーションの利用規約またはBoseプライバシー ポリシー を表示するには、メニュー(≡)からAbout Bose Work Management を選択し、End User License Agreement(利用規約)を選択します。

デバイスリストとメニューバー

アプリのメイン画面には、デバイスリスト(ネットワーク上のすべてのVB1のリスト)が表示されます。 デバイスリストの上にはメニューバーがあり、メニュー(≡) といくつかのボタンが含まれています。 このユーザーインターフェイスにより、次のことが可能になります。

ネットワーク内のVB1デバイスをモニタリングする

<u>列(Columns)を追加/削除</u>し、デバイスリストを<u>並べ替え</u>、ニーズに最も合うようにカスタマイズする

ネットワーク内の特定のVB1を検索する

デバイスリストを再検索し更新(リフレッシュ)する

VB1を検索するためのネットワーク(複数可)を選択

ネットワークからVB1を削除する

ネットワーク上のすべてのVB1のグローバル パスワードを指定する

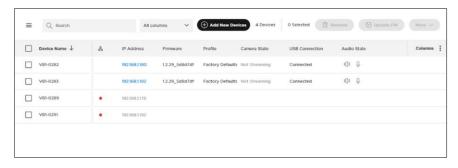
構成プロファイルを作成しコピーする

VB1をリブート(再起動)する

VB1をデフォルト セッティングに戻す(初期化)

ファームウェアをアップデート(更新)する

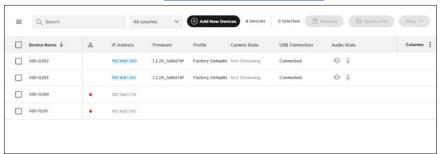
システムログをダウンロードする



VB1デバイスを追加、検出、およびモニタリングする

デバイスリストを使用すると、ネットワーク上のすべてのVB1のステータスを監視できます。 デバイスリストに必要な特定の列情報を加えることで整理することができます。 (例えば、VB1のカメラがストリーミングされているかどうかを示す Camera State(カメラの状態)の列を追加できます。)

アプリは自動的かつ定期的にバックグラウンドでネットワークをスキャンして、新しいVB1を検出し、デバイスリストに追加します。 VB1をデバイスリストに手動で追加することもできます。



デバイスリスト アイコン/シンボル

アイコン/シンボル	状態と意味
Å	ネットワーク列を示します。
•	VB1ネットワーク接続が切断される (disconnected). ネットワーク列に表示されます。
Q / &	VB1のマイクはストリーミングされており、ミュート解除/ ミュートされています。Audio State(オーディオ状態) 列に表示されます。
Q / &	VB1のマイクはストリーミングされておらず、ミュート解除/ミュートされています。Audio State (オーディオ状態)列表示されます。
(1)) / 好	VB1のスピーカーはストリーミングされており、ミュート 解除/ミュートされています。Audio State(オーディオ 状態)列に表示されます。
(1)) / 好	VB1 スピーカーはストリーミングされておらず、ミュート 解除/ミュートされています。Audio State(オーディオ 状態)列に表示されます。

列(Columns)を追加/削除する

いくつかのオプションの列情報を追加または削除して、デバイスリストをカスタマイズできます。 以下の手順でデバイスリストにオプションの列を追加/削除します。

- デバイスリストの右上隅にある Columns ¹ (列)を クリックします。
- 表示されるリストで、チェックボックスを選択/選択 解除し、そのColumns(列)をデバイスリストから追加/削除します。Show All (全表示)を選択すると、すべてのColumns(列)を選択できます。

利用可能なColumns(列):

Building(建物)

Floor(フロア・階)

Room (部屋)

Capacity(キャパシティ/収容人数)

MAC Address (MACアドレス)

Profile (プロファイル)

Serial Number (シリアルナンバー)

Bluetooth State (Bluetoothのステータス・状態)

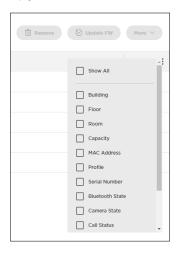
Camera State (カメラのステータス・状態)

Call Status (通話のステータス・状態)

USB Connection (USB接続の状態)

Device Type (デバイスのタイプ)

Audio State (オーディオのステータス・状態)



注: Device Name(デバイス名)、 Network(ネットワーク)、 IP Address (IP アドレス)、およびFirmware(ファームウェア)の列を削除することはできません。

デバイスリストを並べ替え(ソート)する

デバイスリストは、1列もしくは複数列のエントリで昇順または降順で並べ替えることができます。 列を並べ替えるには、列見出しをクリックして、以下のように並べ替えオプションを選択します。

昇順: **↓を選択 (A-Z)**

降順: 个 を選択 (Z-A)

デバイスリストを再検索(リフレッシュ)する

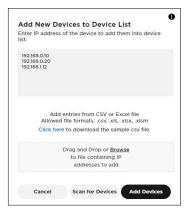
アプリはバックグラウンドで自動的にスキャンして、ネットワーク上の新しいVB1を検出し、それらをデバイスリストに追加します。この検出プロセスを強制的にマニュアルで実行するにはメニュー (三)をクリックし、Refresh Device List (デバイスリストを再検索)を選択します。



マニュアル操作でデバイスリストへ加える

IPアドレスをマニュアル操作(手動)で入力してVB1をデバイスリストに追加するには以下の手順にて行います。

- ウィンドウ上部にある + Add New Devices (新しいデバイスの追加)ボタン をクリックします。
- 2. 表示されるウィンドウで、次のいずれかを実 行できます。
 - ウィンドウ上部の大きい方のフィールドにIPアドレスを入力します。IPアドレス またはIPアドレスの範囲ごとに1行を使用します。(右上隅にある①アイコンをクリックすると、入力できるIPアドレスの受け入れ可能な形式を表示します。)
 - ウィンドウ下部の小さいフィールドに、IPアドレスを含むリストのファイルをドラッグアンドドロップします。使用可能なファイル形式は、CSV、XLS、XLSX、またはXLSMです。(適切なIPアドレス形式を含むこのタイプのファイルの例をダウンロードするには、Clickhere(ここをクリック)リンクをクリックしてください)



- Add Devices(デバイスの追加)をクリックして、各IPアドレスのエントリをデバイス リストに追加します。新しいVB1は、オンラインかオフラインかに関係なく、デバイスリストに追加されます。 VB1がホストからアクセス到達可能である場合、各VB1の情報が表示されます。
- VB1を追加せずにプロセスを終了するには、Cancel(キャンセル)をクリックします。
- 3. 必要なすべてのVB1のIPアドレスを入力した後、次のいずれかを実行します。
 - Scan for Devices (デバイスのスキャン) をクリックして、それらのIPアドレスを持つ VB1のネットワークをスキャンします。

オンラインでホストが到達可能なVB1の IPアドレスは、Devices Found(見つかったデバイス)の下に一覧表示されます。

オフラインであるか、ホストから到達できないVB1のIPアドレスは、**Devices Not Found**(デバイスが見つかりません)の下に一覧表示されます。



Scan Again(再スキャン)をクリックしてネットワークを再スキャンするか、Add Found Devices(検出されたデバイスの追加)をクリックして、Devices Found(検出されたデバイス)の下にリストされているIPアドレスを持つVB1をデバイスリストに追加します。

Back (戻る)をクリックして前画面に戻ります。

VB1をデバイスリストに手動で追加すると、その情報がその横に表示され、リアルタイムで 更新され続けます。

デバイスリスト の エクスポート

デバイスリストの内容をスプレッドシートにエクスポートできます。スプレッドシートの各行はデバイスリストのVB1に対応し、スプレッドシートの各列は以下のデバイスリストの設定列に対応します。

Device Name	Floor	Profile	Call Status
IP Address	Room	Serial Number	USB Connection
Firmware	Capacity	Bluetooth State	Device Type
Building	MAC Address	Camera State	Audio State

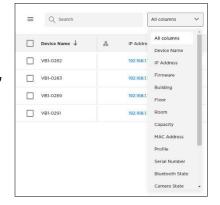
現在のデバイスリストをエクスポートするには以下の手順にて行います。

- 1. メニュー (≡)をクリックし、Export Device List(デバイスリストをエクスポート)を選択
- ファイルを保存する場所を選択し、一意の名前を入力して、[保存]をクリックします。 デフォルトのファイル名は DeviceList -[year][month][day]_[time] です。

情報検索(Search/サーチ)

特定のVBIまたはパラメータを検索するには、ウィンドウの左上隅にある Search (検索)フィールドをクリックして、目的の検索語を入力します。

検索を特定のパラメータに絞り込むには、Searchフィールドの下矢印(〜)をクリックして、目的のパラメータを選択します。 すべてのパラメータを検索するには、All Columns(すべての列)を選択します。

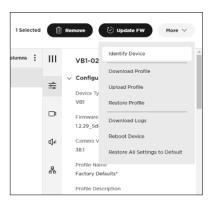


VB1 デバイスの識別

特定のVB1デバイスをネットワーク内で識別するに は以下の手順にて行います。

- デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択します。
- ウィンドウの右上のMore√(その他)をクリックしてから、Identify Device(デバイスを 識別)をクリックします。

そのVB1では、ライトバーの中央にあるライトの小さなセクションが繰り返し紫色に点滅します。



ネットワークを選択する

VB1を検索するネットワーク(複数可)を選択する には以下の手順にて行います。

- 1. メニュー (≡)をクリックし、Settings (セッティング)を選択します。
- 表示されるウィンドウで、検索に含めるネットワークのチェックボックスを選択します。(複数選択可)

マルチキャスト検出を有効または無効にするに は、Enable Multicast Discovery (mDNS) (マルチキャスト検出(mDNS) を有効にする) を選択または選択解除します。



リストされているすべてのネットワークを検索に含めるには、**Select All** (すべて選択)チェックボックスを選択します。

- 保存せずプロセスを終了する場合はCancel(キャンセル)をクリックし、継続する場合は Save(保存)をクリックします。
- 4. Save(保存)をクリックした場合、保存確認メッセージが表示されます。OKをクリックして続行します。

これで、選択したネットワークのVB1のみがデバイスリストに表示されます。

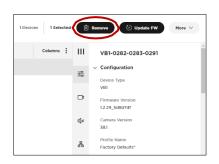
VB1デバイスを削除する

ネットワークからVB1を削除するには以下の手順にて行います。

- 1. デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択します。
- 2. ウィンドウの右上部分にある Remove (削除)をクリックします。
- 表示されるメッセージで、VB1をネットワーク に保持する場合は Cancel (キャンセル)を クリックし、VB1を削除する場合は Remove (削除)をクリックします。
- 4. Remove (削除)をクリックすると、確認メッセージが表示されます。 OK をクリックして続行します。

VB1はデバイスリストから削除され、表示されなくなります。

注: VB1がネットワーク上に残っている場合、VB1は自動的に再検出されます。



Global Password (グローバルパスワード)の指定

ネットワーク内の全VB1にGlobal Password(グローバルパスワード)を指定できます。これは、全VB1に割り当てられた複数の個別のパスワードを保管する必要がない利便性を提供します。

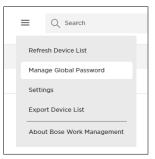
重要: グローバルパスワードに設定済みのパスワードを取得する方法はありません。グローバルパスワードを忘れたり紛失したりした場合は、VB1を工場出荷時の設定にリセットする必要があります。 工場出荷時のデフォルトのパスワードは Bose123! です。

注:アクセス後にパスワードは変更されることをお勧めします。

注:特定のVB1のパスワードを設定または変更するには、目的のVB1を選択し、コントロールパネルの Configuration(構成) セクションをクリックします。VB1のパスワードを設定または変更する際、そのパスワードをグローバルパスワードとして割り当てるオプションも表示されます。

グローバルパスワードの設定は以下の手順にて行います。

- 1. メニュー (≡)をクリックし、Manage Global Password (グローバルパスワードの管理) を選択します。
- 表示されるウィンドウで、グローバルパスワードを最初のフィールドに一度入力し、続いて2番目のフィールドに再入力して確認します。
- 保存せずに終了する際は Cancel(キャンセル) を、保 存する際は Save(保存)をクリックします。
- Save(保存)すると確認メッセージが表示され、OK を 押して続行します。



Profile(プロファイル)を管理する

プロファイルを作成して保存し、1台のVB1に設定された全パラメータの内容を、他の複数のVB1にすばやくコピーし展開できます。

Download Profile (プロファイルをダウンロード(保存)する)

VB1のプロファイルの作成および保存(ダウンロード)は以下の手順にて行います。

- デバイスリストでVB1を選択し、必要に応じて そのパラメータを構成します。(より詳しい方 法については パラメータのコンフィグレー ション(構成)の項目をご覧ください。)
- ウィンドウの右上部分にあるMore マ をク リックし、Download Profile(プロファイ ルをダウンロード)を選択します。
- 3. プロファイルを保存する場所を選択し、任意のプロファイル名を入力して、**Save**(保存)をクリックします。
- 4. 表示されるウィンドウで、保存したプロファイルをそのVB1のベースラインとなるプロファイルとして適用するかどうかを選択できます。保存したプロファイルをベースラインプロファイルとして使用するにはApply(適用)をクリックし、現在のプロファイルを保持するにはCancel(キャンセル)をクリックします。



Upload Profile (プロファイルのアップロード(コピー))

プロファイルを 1 台以上のVB1にコピー(アップロード) するには以下の手順にて行います。

- プロファイルのコピー先のデバイスリストで VB1を選択します。
- ウィンドウの右上にあるMore ∨ (その他)を クリックし、Upload Profile (プロファイルを アップロード)を選択します。
- VB1にアップロードするプロファイルを見つけて選択し、Save (保存)をクリックします。



Restore Profiles (プロファイルの復元)

変更を破棄し、プロファイルを以前の状態に戻す、 プロファイルの復元(Restore)を実行するには以 下の手順にて行います。

- 1. デバイスリストからプロファイルを復元する VB1を選択(複数可)します。
- ウィンドウ右上にある More ✓ (その他)を クリックし、Restore Profiles (プロファイ ルを復元)を選択します。
- 前のウィンドウに戻るには Cancel (キャンセル)をクリックし、変更を破棄して以前の設定へと復元する場合は Restore (更新)をクリックします。



VB1デバイスを再起動(リブート)する

単一または複数のVB1デバイスを手動でリブートするには以下の手順にて行います。

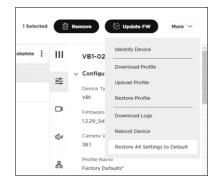
- 1. デバイスリストで再起動するVB1を選択しま す。
- ウィンドウの右上にあるMore √ (その他)を クリックし、Reboot Device(デバイスの再起 動)をクリックします。
- 表示されたウィンドウで、Cancel(キャンセル) をクリックして何も再起動せずに前のウィンド ウに戻るか、Reboot(再起動)をクリックして VB1を再起動します。VB1の動作は、再起動 時に中断されることに注意してください。



デフォルトセッティング(工場出荷時設定)を復元する

単一または複数のVB1の工場出荷時のデフォルト設定を復元するには以下の手順で行います。

- デバイスリストで、設定をデフォルトに復元するVB1を選択します。
- ウィンドウの右上にあるMore ✓ (その他)を クリックし、Restore All Settings to Default (全ての設定をデフォルトに復元)を クリックします。
- Cancel(キャンセル)をクリックして前のウィンドウに戻るか、Restore(復元)をクリックして選択したVB1の工場出荷時のデフォルト設定を復元します。



ファームウェアをアップデートする

単一または複数のVB1のファームウェアを、即時もしくはスケジュールされた時刻にアップデートできます。 古いバージョンのファームウェアをインストールすることで、以前のリリースに戻すことも可能です。

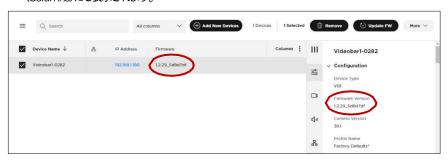
重要:VB1のファームウェアのインストールプロセスが完了すると、そのVB1は自動的に再起動します。

VB1に現在インストールされているファームウェア バージョンを表示させるには以下の手順にて行います。

- デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択し、パスワードを入 力して、Submit (実行)をクリックします。
- 2. コントロールパネルから、Configurationセクションをクリックすると、

Firmware Version (ファームウェア バージョン)の下にバージョン番号が表示されます。

注: 各VB1の現在のファームウェアバージョンのバージョン番号は、デバイスリストの Firmware 列 (Columns)にも表示されます。



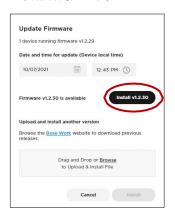
即時にアップデートする

複数の \bigvee B1に最新のファームウェアバージョンをすぐにインストールする場合は以下の手順にて行います。

- 1. デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択(複数可)します。
- ウィンドウの上部右隅にある Update FW(ファーム ウェアをアップデート) をクリックします。

表示される Update Firmware(アップデートファームウェア)ウィンドウの上部に、現在インストールされているファームウェアのバージョン番号が示されます。

新しいバージョンのファームウェアが利用可能な場合は Install v ボタンが表示されます。
 (v は、利用可能な最新のファームウェアのバージョン番号です。)



スケジュールされたアップデート

ファームウェアのアップデートを特定の日時に実行するようにスケジューリングが可能です。 (例として、ユーザーへの影響を回避するために通常の営業時間外に実行する等)。

ファームウェアの更新がスケジュールされているVB1の場合、デバイスリストの**Firmware** 列(Columns)に時計アイコンが表示されます。



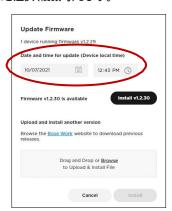
ファームウェアのアップデートをスケジューリングする

ファームウェアのスケジューリングを行うには以下の手順にて行います。

- 1. デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択(複数可)します。
- ウィンドウ右上隅にある Update FW (ファームウェアをアップデート)をクリックします。

Update Firmware (アップデートファームウェア) ウィンドウが表示されると、上部に現在インストール されているファームウェアのバージョン番号が示されます。

- Date and time for update (Device local time)(アップデートの日時(デバイスのローカル時刻))にて、更新を予定したい日時を、フィールドに直接入力もしくはカレンダーと時計のアイコンをクリックして設定します。
- 4. Schedule Install (スケジュールを追加)をクリックして、予定を設定します。



スケジュールされたアップデートの変更

スケジュールされたアップデートの実施日時を変更するには以下の手順にて行います。

- 1. デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択(複数可)します。
- ウィンドウの右上隅にある Update FW(ファームウェアをアップデート) をクリックします。または、コントロールパネルのConfiguration(構成) セクションで、Firmware Version(ファームウェア バージョン)の下のEdit (編集)をクリックします。

表示される Edit Scheduled Firmware Update (ファームウェア アップデートのスケジュール編集)ウィンドウで、メッセージに現在インストールされているファームウェアと、インストールが予定されているファームウェアの各バージョン番号が表示されます。

 Date and time for update (Device local time) (アップデートの日時(デバイスのローカル時刻))にて、 予定したい日時をフィールドに直接入力、もしくはカレン ダーと時計アイコンをクリックして設定します。



4. Cancel (キャンセル)をクリックして、変更を加えずにウィンドウを閉じる、もしくは Reschedule Install(スケジュールを再度追加)をクリックします。

Reschedule Install(インストールの再スケジュール)をクリックすると、ウィンドウの左下にFirmware update rescheduled(ファームウェアの更新の再スケジュール)メッセージが表示されます。

スケジュールされたアップデートのキャンセル

スケジュールされたアップデートをキャンセルするには以下の手順にて行います。

- デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択(複数可)します。
- コントロールパネルのConfiguration(構成)セクションで Firmware Version(ファームウェアバージョン)の下の Cancel(キャンセル)をクリックします。
- 3. 表示される Edit Scheduled Firmware Update (ファームウエアアップデートのスケジュールを編集する)ウィンドウで、Cancel Update (アップデートのキャンセル)をクリックしてアップデートをキャンセルするか、Don't Cancel (キャンセルしない)をクリックして変更を加えずにウィンドウを閉じます。

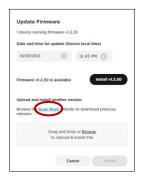




以前のファームウェアバージョンをインストールする

以前のリリースに戻すために旧バージョンのファームウェアをインストールするには以下の手順に て行います。

- 1. デバイスリストで目的のVB1の横にあるチェックボックスを選択(複数可)します。
- 2. ウィンドウ右上隅にある **Update FW** (ファームウェア アップ デート) をクリックします。
- Update Firmware (ファームウェア アップデート)ウィンドウ が表示されたら Bose Work リンクをクリックして、インスト ールするファームウェアバージョンを見つけてダウンロードし ます。
- 4. Firmware (ファームウェア)ウィンドウの灰色のボックス内へドラッグアンドドロップする、もしくは Browse (ブラウズ)をクリックして目的のファームウェアの .swu ファイルを参照して選択し、灰色のボックスの下にある Install (インストール)をクリックします。



Install(インストール)をクリックすると、ウィンドウの左下に File upload in progress (ファイルのアップロードが進行中です)というメッセージが表示されます。 プロセスが完了すると、VB1は自動的に再起動(リブート)します。

Download Logs (システム ログ をダウンロードする)

システムログファイルをダウンロードするには、以下の手順にて行います。

- システムログファイルをダウンロードするデバイスリストからVB1を選択(複数可)します。
- ウィンドウの右上にあるMoreン(その他)をクリックし、 Download Logs(ログのダウンロード)をクリックします。
- 3. システムログファイルを保存する場所を選択し、一意の名前を入力して、Save(保存)をクリックします。



Control Panel (コントロールパネル)

このアプリでは、Control Panel(以下、コントロールパネル)から1台または複数同時にVB1を管理できます。このインターフェイスを使用して、VB1の識別とプロファイルのパラメータ、カメラのセッティングとプリセット、マイクビームとその設定、有線/ワイヤレスの両方のネットワーク接続設定など、さまざまなパラメータを構成できます。

パラメータのコンフィグレーション(構成)

VB1のコントロールパネルを開くには、デバイスリストの Device Name (デバイス名)の左側にあるチェックボックスを選択し、ウィンドウの右側に表示されるコントロールパネルにパスワードを入力して、Submit (送信)をクリックします。

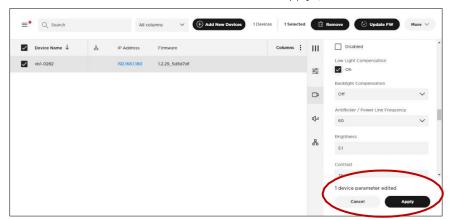
注:各VB1に異なるパスワードを指定する代わりに、global password(グローバルパスワード)を設定することもできます。



コントロールパネルには、以下のセクションがあります。(各タブをクリックすると各項目にジャンプし参照できます。)

- Configuration (コンフィグレーション・構成):ファームウェアをインストール、特定のビデオ映像、オーディオ音声、および接続設定へのユーザーアクセスを構成します。プロファイル、システム設定、および識別設定(Identification)を構成します。
- Video (ビデオ映像): カメラ プリセットの保存/呼び出し、および工場出荷時のデフォルトのカメラ設定をリストア(復元)します。 オートフレームのアクセスを有効もしくは無効にし、設定を構成します。 Automatic low-light compensation(自動低照度補正)を有効/無効にし、低照度補正設定を構成します。
- Mudio (オーディオ音声): リニアマイクアレイを構成し、マイクやその他のオーディオ設定へのアクセスを制御し、オーディオの入力レベルと出力レベルを表示します。
- **Network** (ネットワーク): 有線接続とワイヤレス接続の有効/無効の切り替えや、ネットワーク接続のインターネットプロトコル(IP) 設定およびワイヤレス(無線) ネットワーク セキュリティ設定を構成します。

注:パラメータを編集すると、コントロールパネルの下部にCancel (キャンセル)ボタンと Apply (適用)ボタンが表示されます。変更を破棄する場合はCancel (キャンセル)をクリックし、変更を保存して選択したVB1に実装させる場合はApply (適用)をクリックします。



Configuration(コンフィグレーション)セクション

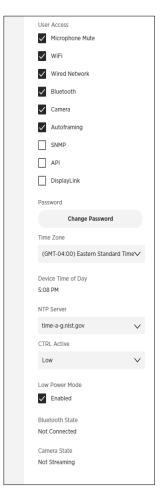
Configuration(コンフィグレーション) セクションには、ファームウェア情報とアップデート機能や、ユーザーアクセス(ビデオやオーディオに関する特定の機能と接続設定)の他、プロファイル、システム設定、および個体識別(identify)等の設定管理のコントロールも提供します。

- Firmware Version(ファーム ウェア バージョン): 現在インストールされたファームウェアのバージョン番号。新しいファームウェアが利用可能な場合は、それをインストールするためのリンクとメッセージが表示されます。詳細は、「ファームウェアをアップデートする」をご参照ください。
- Camera Version(カメラ バージョン): VB1
 のカメラ・ソフトウエアのバージョン番号。
- Profile Name(プロファイル ネーム): VB1に任意設定された構成プロファイルの固有名称。
- Profile Description(プロファイル説明): 構成プロファイルを識別するための説明。
- Device Name(デバイス名称): VB1に任意設定された名称。
- Building(建物): VB1の場所を識別するために 任意で構成される名称設定。
- Floor(プロア・階): VB1の場所を識別するため に任意で構成される名称設定。
- Room(部屋): VB1の場所を識別するために任意で構成される名称設定。
- Capacity(キャパシティ・収容人数): VB1の場所の部屋の容量やキャパシティなどを識別するために任氏で構成される名称設定。
- User Access(ユーザーアクセス):以下の機能 へのユーザーアクセスを有効/無効にするには、 各チェックボックスを選択/解除します。
 - Microphone Mute(マイクミュート):VB1マイク自体をミュートする機能の有効/無効
 - WiFi(Wi-Fi): ワイヤレスネットワーク接続の有効/無効
 - Wired Network(有線ネットワーク):有線ネットワーク接続の有効/無効
 - Bluetooth(ブルートゥース): Bluetooth接続の 有効/無効
 - Camera(カメラ): VB1のカメラの有効/無効

Ш	vb1-0282
٨Ļ	∨ Configuration
≂	Device Type VB1
Ĵi	Firmware Version 1.2.29_5d8d7df
14	Camera Version 38.1
8	Profile Name Factory Defaults*
	Profile Description Factory Defaults
	Device Name
	vb1-0282
	Building (optional)
	Not set
	Floor (optional)
	Not set
	Room (optional)
	Not set
	Capacity (optional) Not set
	Not set
	User Access Microphone Mute
	✓ WiFi
	✓ Wired Network
	✓ Bluetooth
	✓ Camera
	✓ Autoframing
	SNMP
	☐ API
	DisplayLink

- Autoframing(オートフレーミング): オートフレーミングのオン/オフを切り替える機能を有効/無効にします。オートフレーミングは、パン/チルト/ズーム(PTZ)のカメラ設定を自動的に調整して、室内のすべての参加者のパノラマビューを常時表示します。
- 。 SNMP(シンプル ネットワーク マネージメント プロトコル): ネットワークを介した簡易ネットワ ーク管理プロトコル(SNMP)を有効/無効にしま す。詳細については、SNMP Settingsを参照して ください。
- API(アプリケーション プログラミング インターフェイス):ネットワーク経由でREST APIを有効/無効にします。詳細については、API Settingsを参照してください。
- DisplayLink(ディスプレイ リンク): HDM出力/ DisplayLinkを有効/無効にします。デフォルト(初期設定)では無効設定(Disabled)となっています。
- Password(パスワード): VB1のパスワードを変 更するには、Change Password (パスワードの 変更)をクリックします。パスワードには次のもの が含まれている必要があります。
 - ∘ 8~12この半角文字
 - 。 ひとつ以上の大文字
 - 。 ひとつ以上の小文字
 - 。 ひとつ以上の数字
 - 。 ひとつ以上の特殊記号

注:ネットワーク内のすべてのVB1で新しいパスワードの使用を有効/無効にするには、Set as Global Password (グローバルパスワードとして 設定) チェックボックスで有効/無効にします。



- Time Zone(タイムゾーン): ローカル タイム ゾーンを選択します。
- Device Time of Day(デバイスの現時刻): VB1の現在時刻を表示(読み取り用)します。
- NTP Time Server(NTP タイム サーバー): NTP(ネットワーク タイムプロトコル) サーバーのIPアドレスを選択または入力します。
- CTRL Active(外部制御のアクティブ状態):接続されている警報システムのアクティブ 状態を指定します。表示: High(高・アクティブ)またはLow(低・非アクティブ)
- Low Power Mode(ロー パワー モード): ロー パワー(省電力)モードを有効/無効にします。有効にすると、VB1は2時間アイドル状態になった後、省消費電力のスタンバイモードとなります。
- Bluetooth State(Bluetoothのステータス・状態): Bluetooth接続を介してVB1にペアリングおよび接続されているデバイスの名称を表示します。
- Camera State(カメラのステータス・状態): カメラ(映像)の状態をStreaming or Not Streaming(ストリーミングもしくは非ストリーミング)で表示します。

Video(ビデオ映像)セクション

Video(ビデオ映像) セクションには、VB1カメラ、オート(自動) フレーミング、および画像処理を構成するためのコントロー ルが含まれています。

- Camera Position (カメラ ポジション): 現在のカメ ラのPan(パン)、Tilt(チルト)、Zoom(ズーム)の設定を 調整します。
- Preset1 (プリセット1): プリセット1のカメラ位置の Pan(パン)、Tilt(チルト)、Zoom(ズーム)の設定を調整します。
- Preset2 (プリセット2): プリセット2のカメラ位置の Pan(パン)、Tilt(チルト)、Zoom(ズーム)の設定を調整します。
- Home(ホーム): Home(ホーム)カメラ位置のPan(パン)、Tilt(チルト)、Zoom(ズーム)の設定を調整します。
- Autoframe Status(オート(自動)フレーム ステータス): 現在のオートフレームの状況
- Autoframe Headroom Adjustment(オート(自動) フレームのヘッドルームの調整): Standing(立位)また はSitting(座位)を選択して、カメラフレームの上部と 被写体の頭の間のスペースを指定します。スタンドアッ プミーティングの場合はStandingを選択し、他のすべ ての場合はSittingを選択します。
- Autoframe Pan/Tilt Speed (オート(自動)フレーム パン/チルト速度): 人が部屋を移動するときにVB1カメ ラがパン/チルトする速度としてSlow(低速)、 Normal(通常)、またはHigh(高速)を選択します。
- Autoframe Border Size (オート(自動)フレーム ボーダー(境界線)サイズ): フレーム化された画像のボーダー サイズを調整します: Small(小)、Normal(標準)、またはLarge(大)が選択できます。最小のボーダー(最大ズーム)の場合は、Smallを選択します。
- III v Video Camera Position <u></u> Zoom 1 Pan 0 Tilt 0 Preset 1 Pan 0 q1₄1 Preset 2 Pan ₀ ጹ Home Pan 0 Autoframe Status ✓ On Sitting Autoframe Zoom Speed Autoframe Pan / Tilt Speed Autoframe Border Size Normal Autoframe Information Disabled Low Light Compensation On
- Autoframe Information (オート(自動)フレーム インフォメーション): このトラブルシューティング機能を有効/無効にするには、このチェックボックスを選択/選択解除します。 Enabled(有効)に設定すると、オートフレーム オブジェクトがビデオ画像上に重ね合わせて表示(スーパー イン ポーズ)されます。これらは、セルフビューと共にファーエンド(遠端)の会議参加者側にも表示されます。
- Low Light Compensation (低照度補正):このチェックボックスを選択/選択解除して、 自動低照度補正をEnabled(有効)/Disabled(無効)にします。Enabled(有効)にすると、 低照度補正は薄暗い照明条件でのビデオ画像を最適化します。

注:Backlight Compensation(逆光補正)がOff (オフ)に設定されている場合にのみ、Low Light Compensation(低照度補正)を有効にできます。

• Backlight Compensation (逆光補正): Low(低)、 Medium(中)、またはHigh(高)を選択して、明るい光源が ある条件での画像露出の調整レベルを設定します。(たと えば、逆光補正は、明るい照明の前にいてシルエットが照ら されている人をより良く映し出します。)逆光補正を無効に するには、Off(オフ)を選択します。

注:Backlight Compensation (逆光補正)が Low(低)、Medium (中)、または High (高) に設定されて いる場合、Low Light Compensation (低照度補正)は 自動的にDisabled (無効)になります。

- Antiflicker/Power Line Frequency (アンチフリッカー(ちらつき防止)/電源周波数):50または60を選択して、部屋の照明のAC周波数(Hz)を指定します。この機能は、ビデオ画像に見られるちらつき(フリッカー)を補正します。この機能を無効にするには、Off(オフ)を選択します。
- Brightness (ブライトネス): 画像の全体的な明るさ/ 暗さを設定します。
- Contrast (コントラスト): 画像の明るい領域と暗い領域の差を設定します。
- Saturation(彩度):画像の色の深さを設定します。
- Sharpness(シャープネス):画像の鮮明度を設定します。
- White Balance(ホワイト バランス): 光源の色温度のバランスを設定します。バランスを自動的に設定するにはAuto(自動)を選択します。
- Video Resolution Overlay (ビデオ解像度オーバーレイ): このトラブルシューティン グ機能をEnabled(有効)/Disabled(無効)にするには、このチェックボックスを選択/選 択解除します。Enabled(有効)にすると、画面の解像度情報がビデオ画像上に重ね合わ せて表示(スーパー イン ポーズ)されます。これはセルフビューと共にファーエンド(遠端) の会議参加者側にも表示されます。



Audio(オーディオ音声)セクション

Audio(オーディオ音声)セクションでは、以下のマ イクアレイ設定(ビーム構成を含む)、オーディオ設 定、およびオーディオ入力および出力レベルなど にアクセスできます。

Microphone Beam Type (マイクビームタ **イプ**): マイクビームを自動調整する Dvnamic(ダイナミック・自動)もしくは手動 で調整する際はStatic(スタティック・固定) を選択します。

デフォルト(初期設定)のビームタイプは Dynamic(ダイナミック・自動)です。これに は、部屋で最も大きな音を自動で検索する単 一のビームと、部屋で話している人に自動的 に向けられるダイナミックビームが含まれま

Static (スタティック・固定)ビームは、話者 のいる場所の指定方向へ手動で向けること ができます。

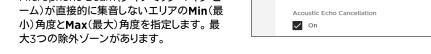
 Microphone Beams 1-4 (マイクロフォン) **ビーム 1~4): 部屋で話している人の検出** を最適化するために、各ビームの角度を指定 します。これは、Microphone Beam Type (マイク ビーム タイプ)がStatic(スタティッ ク・固定)設定されている場合のみ実行でき、 最大4つのビームを作成できます。

> 注:ビームの値を空白のままにすると、マ イクのビームカバレッジからビームが削 除されます。

Exclusion Zones 1-3 (エクスクルージョン) (除外)ゾーン 1~3): Dvnamic Microphone Beam(ダイナミック マイク ビ

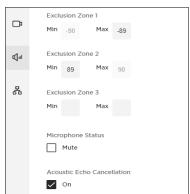
> 注:これらの値を空白のままにすると、そ のExclusion Zone (エクスクルージョン (除外)ゾーン)がカバレッジエリアから削 除されます

 Microphone Mute Access (マイク ミュー ト アクセス): VB1マイクをミュートするユー ザーの機能をEnabled(有効)/Disabled(無 効)にします。



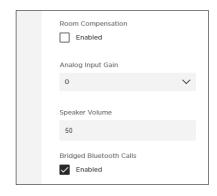


Ш	∨ Audio
-0-	Microphone Beam Type
₩	Static
□	Beam 1
	-40
Q ₄	Beam 2
	-15
品	Beam 3
	15
	Beam 4
	40



Acoustic Echo Cancellation (アコースティック エコー キャンセレーション): スピー カーとマイクの間の音響的なフィードバック(ハウリングなど)やエコーを抑制するアコー

- Room Compensation (室内の補正): 残響の多い部屋の音声処理を有効/無効にします。この機能をEnable(有効)にすると、残響室(ガラスの壁など)でのVB1マイクの明瞭度が向上します。デフォルトは無効です。
- Analog Input Gain (アナログ入力ゲイン): 必要に応じてAnalog Input (アナログ外部入力)のゲインを設定し、外部ソースの音量と他のオーディオソース(USBおよびBluetoothオーディオ信号)との音量レベルのバランスを取ります。
- Speaker Volume (スピーカー音量): VB1 スピーカーのオーディオ再生の音量レベルを 調整します。
- Bridged Bluetooth Calls (ブルートゥース通話のブリッジ接続): Web UCの通話にメディアのBluetooth通話をブリッジ接続する機能をEnable(有効)にする場合は選択します。

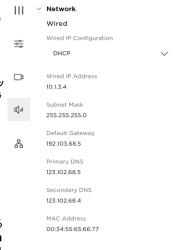


Network(ネットワーク) セクション

Network(ネットワーク) セクションでは、有線、ワイヤレス、およびSNMP(Simple Network Management Protocol(簡易ネットワーク管理プロトコル)) のネットワーク構成設定へのアクセスを提供します。

Wired(有線)ネットワーク設定

- Wired IP Configuration(有線IPコンフィグレーション): IP構成タイプを DHCP(動的/自動)またはStatic(静的/固定)から選択します。
 - DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、VB1にWired IP Address (有線IPアドレス)、Subnet Mask(サブネットマスク)、およびその他のネットワークパラメーター(該当する場合)を自動的に割り当てます。
 - Staticを選択して、Wired IP Address (有線IPアドレス)とSubnet Mask(サブネットマスク)を手動で入力します。
- Wired IP Configuration(有線IPコンフィグレーション)がStatic(静的/固定)に設定されている場合にのみ、以下のオプション設定を構成することができます。またWired IP Configuration(有線IPコンフィグレーション)がDHCP(動的/自動)に設定されている場合、これらの設定は読み取り専用となります。なお、MAC Address (MACアドレス)は常に読み取り専用です。

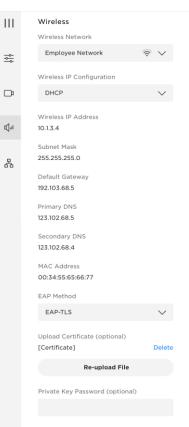


- Wired IP Address(有線IPアドレス): 有線ネットワークのIPアドレス。
- Subnet Mask(サブネットマスク): 有線ネットワークのサブネットマスクのIPアドレス。
- Default Gateway(デフォルトゲートウェイ):トラフィックを他のネットワークに転送するために使用されるIPアドレス。
- Primary DNS(プライマリ DNS): VB1にIPアドレスを割り当てるプライマリDNSサーバーのIPアドレス。
- Secondary DNS(セカンダリDNS): プライマリDNS サーバーが使用できない場合に VBIにIPアドレスを割り当てる DNS サーバーのIPアドレス。
- MAC Address(MAC アドレス): The media access control address (メディア アクセス コントロール アドレス)。ネットワーク インターフェイス コントローラー (NIC) に割り当てられた個別の識別番号。

注:VB1は AutoIP もサポートしています。Wired IP Configuration(有線IPコンフィグレーション)が DHCPに設定されていて、DHCPサーバーが見つからない場合、VB1は自動的に AutoIP レンジ の範囲内のIPアドレスを割り当てます。

Wireless(無線)ワイヤレス ネットワーク設定

- Wireless Network(ワイヤレス ネットワーク):このメニューには、使用可能なネットワークのリスト、各ネットワークの信号強度、およびネットワークがパスワードで保護されている場合はロックアイコンが含まれます。WPA2ネットワークを選択した場合は、表示されるフィールドにパスワードを入力し、Join(追加)をクリックしてネットワークに接続します。
- Wireless IP Configuration(ワイヤレスIP コンフィグレーション): IP構成タイプを DHCP(動的/自動)またはStatic(静的/固定)から選択します。
 - DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)は、VB1にWireless IP Address(ワイヤレスIPアドレス)、 Subnet Mask(サブネットマスク)、およびその他のネットワークパラメーター(該当する場合)を自動的に割り当てます。
 - Staticを選択し、Wireless IP Address (ワイヤレスIPアドレス)とSubnet Mask(サブネットマスク)を手動で入力し ます。
- Wireless IP Configuration(ワイヤレスIPコンフィグレーション)がStatic(静的/固定)に設定されている場合にのみ、以下の設定を構成することができます。またWireless IP Configuration(ワイヤレスIPコンフィグレーション)がDHCP(動的/自動)に設定されている場合は読み取り専用となります。なお、MAC Address (MACアドレス)は常に読み取り専用です。



- Wireless IP Address(ワイヤレスIPアドレス): ワイヤレス(無線)ネットワークのIP アドレス。
- Subnet Mask (サブネットマスク): ワイヤレス(無線)ネットワークのサブネットマスクのIPアドレス
- Default Gateway(デフォルトゲートウェイ):トラフィックを他のネットワークに転送するために使用されるIPアドレス
- Primary DNS(プライマリDNS): VBIにIPアドレスを割り当てるプライマリDNSサーバーのIPアドレス
- Secondary DNS(セカンダリ DNS): プライマリ DNS サーバーが使用できない場合にVB1にIPアドレスを割り当てる DNS サーバーのIPアドレス。
- MAC Address(MACアドレス): The media access control address(メディア アクセス コントロール アドレス)。ネットワーク インターフェイス コントローラー(NIC)に割り当てられた個別の識別番号。

注: VB1は AutoIP もサポートしています。Wireless IP Configuration(ワイヤレスIP コンフィグレーション)が DHCPに設定されていて、DHCPサーバーが見つからない場合、 VB1は自動的にAutoIP レンジ の範囲内のIPアドレスを割り当てます。

- EAP Method(EAP方式): 該当する場合は、Extensible Authentication Protocol (EAP/拡張認証プロトコル)のタイプを選択します。
- Phase 2 Authentication(フェーズ 2 認証): EAPの第2認証フェーズで使用する 方法を選択します。
- Upload Certificate (optional)(証明書アップロード(オプション)):アップロードされ た証明書がない場合は、Upload File(ファイルのアップロード)ボタンをクリックし、認証 局(CA)の検証のためにアップロードする証明書を選択します。証明書がアップロードされ ると、このセクションに表示されます。また、Delete(削除)をクリックして証明書を削除す る、あるいはRe-upload File(ファイルの再アップロード)をクリックしてアップロードする 別の証明書を選択することもできます。
- Private Key Password (optional)(プライベート キー パスワード (オプション)): 接 続を確立するためのパスワードを入力します。

SNMP

None

Username

bose

Password

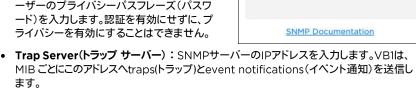
.....

Authentication Protocol

SNMP Settings (SNMP設定)

VB1は、ネットワークの管理と監視のためにSNMP (Simple Network Management Protocol)を サポートしています。

- Authentication Protocol(認証プロトコ ル): VB1はSNMP v3をサポートします。 オプションの 認証プロトコルを選択して、ユ ーザーのIDを確認します。
- Username(ユーザー名): SNMP v3情報 にアクセスできるユーザー名(最大32文字)。
- Password(パスワード): SNMP v3情報に アクセス可能なAuthentication passphrase(パスワード)(最大32文字)。
- Encryption Protocol(暗号化プロトコ ル): VB1 はSNMP v3をサポートし、オプシ ョンのプライバシープロトコルを選択して、デ ータの機密性を確保します。
- Privacy Passphrase(プライバシーパスフ レーズ):SNMP v3情報にアクセスできるユ ーザーのプライバシーパスフレーズ(パスワ ード)を入力します。認証を有効にせずに、プ ライバシーを有効にすることはできません。



☐ Show password Encryption Protocol None Privacy Passphrase ☐ Show privacy passphrase Trap Server

注:SNMPを介してVB1でサポートされる特定のポーリングとトラップの詳細について は、SNMP Documentation (SNMPに関するドキュメント)のリンクを参照してくださ 110

API Settings(API設定)

VB1はネットワーク管理および監視用の Representational State Transfer Application Programming interface (リプレゼンテーショナル ステートトランスファー アプリケーション プログラミングインターフェイス (REST API))をサポートしています。

これらの設定は、APIがEnabled(有効)になっている場合にのみ使用できます。 APIが **Disabled(無効)**になっている場合、これらの設定の代わりに「Disabled(無効)」がこのセクションには表示されます。



Bose Work Configuration アプリ または WebUI を使用して、API を Enabled(有効)/Disabled(無効) にします。Bose Work Management アプリ内で、API を Enable(有効)/Disable(無効) にすることはできません。

- **Username(ユーザー名)**: REST API情報にアクセスできるユーザーのユーザー名を入力します(最大32文字)。
- Password(パスワード): REST API情報にアクセスできるユーザーのパスワードを入力 します(最大32文字)。 パスワードを表示または非表示にするには、[パスワードの表示]チェックボックスを選択または選択解除します。

注:REST APIを介してVB1でサポートされる特定のメッセージの詳細については、 REST API Documentation (REST APIに関するドキュメント)のリンクをクリックしてください。

